



株主の皆様へ

『経営戦略2015』の最終年度。

『経営戦略2015』の仕上げに向け、

全社一丸となって取り組んでまいります。

市況悪化などの事業環境の変化を踏まえ、 2015年度通期見通しを修正

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2015年度第2四半期連結決算について、ご報告申し上げます。

2015年度第2四半期の三菱商事グループの連結純利益は1,549億円となり、前年同期比で39%の減益となりました。非資源分野では、地球環境・インフラ事業グループ、機械グループおよび化学品グループにおける取引利益・持分利益の増加などがあったものの、資源分野において、主に市況悪化に伴い資源関連投資先からの配当金や持分利益が減少したことによるものです。

こうした市況悪化などの事業環境の

変化を踏まえ、誠に遺憾ではございますが、2015年度の通期業績見通し(連結純利益)を3,000億円(期初公表見通し比▲600億円)に修正しました。また、通期業績見通しの修正を踏まえ、2015年度の年間配当見通し額を、期初に公表した1株当たり56円から50円へ修正し、2015年度の中間配当は、この半額に相当する1株当たり25円とさせていただきました。『経営戦略2015』では、事業環境の変化にかかわらず一定の配当を行えるよう、安定部分と変動部分の二段階で配当を実施する株主還元方針としており、この方針に従い1株当たり年間配当50円を予定させていただくものです。

『経営戦略2015』では、継続的にポートフォリオの最適化を図りながら、事業規模倍増など、2020年頃の成長イメージの具現化を目指すことにより、三菱商事の価値の極大化を実現することとしています。

『経営戦略2015』の最終年度となる2015年度は、第2四半期末までに計6,500億円の新規投資を実行したほか、資産の入替えについても積極的に進めております。また、収益の向上を第一優先としつつ中長期的な資本効率の回復を図るため、昨年度に引き続き、約1,000億円の自己株式を取得し、本年8月にその大半

を消却しました。

今年度は、『経営戦略2015』の仕上げの年となります。資源価格の下落などもあり厳しい環境が続きますが、このような事業環境を深く認識し、コスト改善による競争力強化に取り組むなど環境変化に対応していくとともに、「より強い事業」「強くなる事業」への経営資源の投入を加速し、通期業績見通しの達成、さらには『経営戦略2015』の仕上げに向け、全社一丸となって邁進していく所存です。

今後とも、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2015年11月 代表取締役 社長

小林 健

